

カセットテープのCD化

Soundengine というフリーソフトを使うと、カセットテープに録音されている懐かしい音楽を、パソコン上で録音してデジタルに変換することが出来ます。デジタル化すると、アナログのままで保存するよりも長期間、劣化なく保存することが出来、CDなどに焼き付けることも出来ます。

講座では、カセットテープの音楽を録音してMP3 形式（デジタル）で保存し、CDに焼き付ける方法について説明します。

1. 録音機能の確認

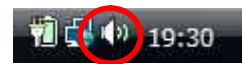
最初にパソコンの音声入力端子（マイク又はライン入力）とカセットプレーヤーの出力端子（イヤホン又はライン出力）とを音声コードで接続する。

音声コードは通常ラインケーブルと呼ばれるもので、両端がピン形状になっています。（右図参照）

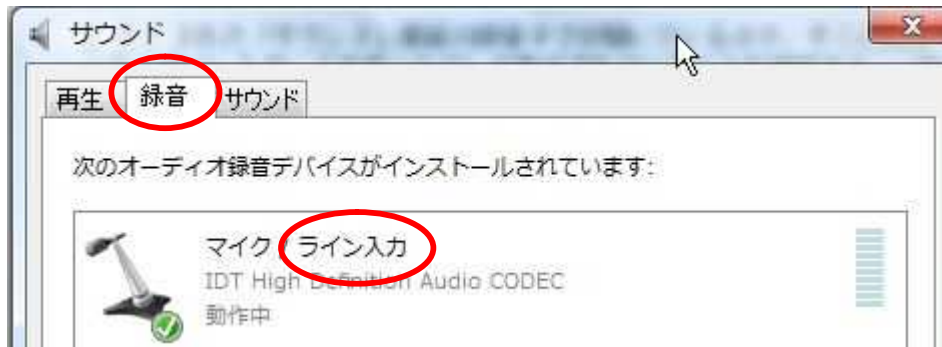


(1) パソコンの確認

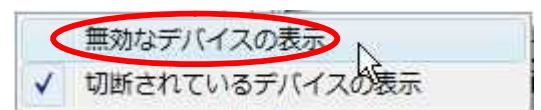
デスクトップ画面の右下に表示されている「音量」ボタンを右クリックし、「録音デバイス」をクリックする。



表示された「サウンド」画面の録音タブが開いているので、そこに利用可能な録音デバイス（マイク、ライン入力、ミキサーなど）が表示されていることを確認する。（動作中と表示）



有効な録音デバイスが表示されない場合は、録音タブ内の空白部分で右クリックし、メニューの「無効なデバイスの表示」をクリックすると利用可能なデバイスが表示される。（デバイスがなければ録音は出来ません。）



で表示された録音デバイスの上で右クリックし、「有効」をクリックすると使用可能となる。

「再生」タブを開き、録音の場合と同様にして、利用可能な再生デバイス（スピーカーなど）が表示されていることを確認する。表示されない場合は、録音デバイスと同じように処理して有効化を図る。

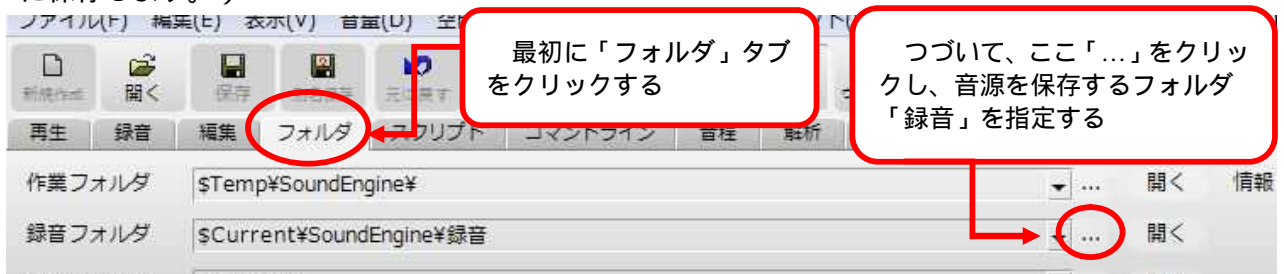
「音量」ボタンをクリックして、音声が「ミュート」（切断）になっていないことを確認する。

(2) SoundEngineでの確認

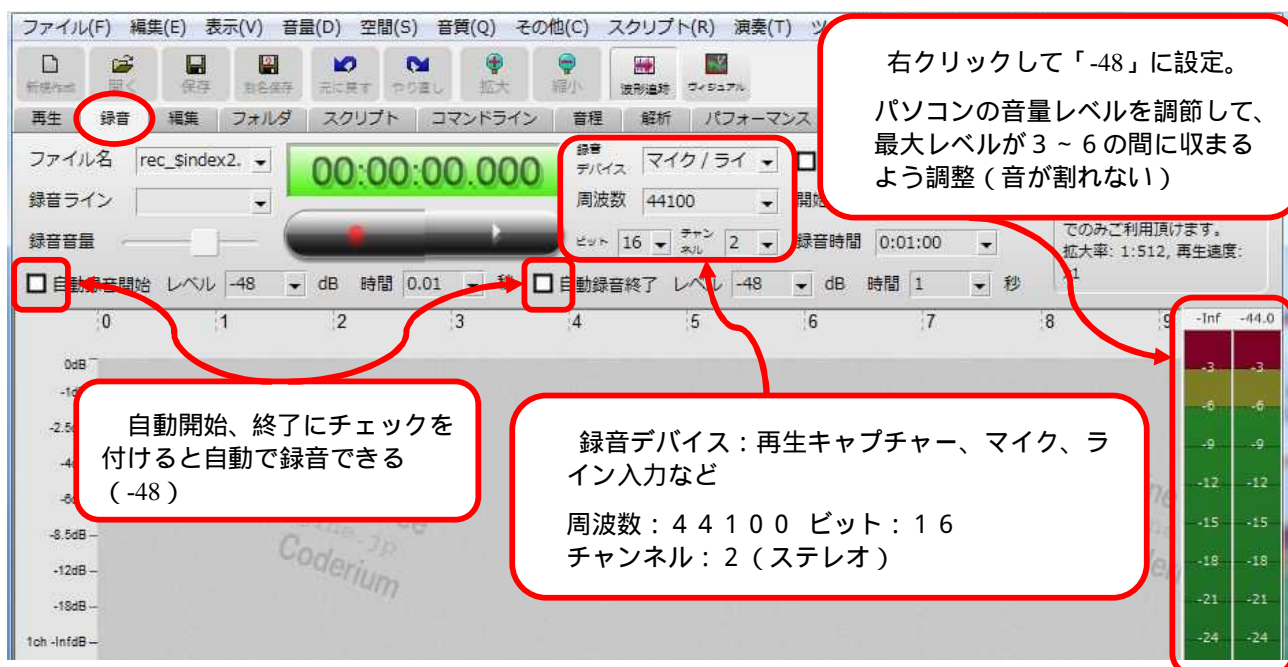
SoundEngineFreeを起動して、保存フォルダ、録音デバイス等を設定する。

「フォルダ」タブを開き、録音した音源（WAV）や、変換した音源（MP3）を保存するフォルダを設定しておく。

（講座では「SoundEngineFree」 - 「SoundEngine」フォルダ内の「録音」と言う名前のフォルダに保存します。）



「録音」タブを開き、録音の設定をする



「再生」タブを開き、録音した音源を確認・編集するための「再生」の設定をする



2. SoundEngineで録音する

(1) 録音レベルの確認

カセットテープを再生する

SoundEngine の「録音」タブを開き、画面右側の「レベルメーター」を見ながら、カセットテープ プレーヤーの「音量」ボタンを使って、録音レベルを設定する。 レベルのピークが、3～6の間に収まるように設定するとよい。

レベル設定が出来たら「録音準備ボタン」(図の左側 ●) が押されていることを確認し、「録音ボタン」(図の右側 ▷) を押す。

録音開始



録音状態が確認出来るだけの録音が出来たら、「録音一時停止ボタン」(元、「録音ボタン」が表示されていた場所) を押して、録音を停止する。 合わせて、カセットテープ プレーヤーの音も停止する。

「再生」タブを開き、「再生ボタン」(図の中央 ▷) を押すと再生が始まる。 録音レベルを確認する。



録音が出来ていない場合 (波形が表示されない) 録音デバイスを再チェックする。

再生が出来ない (波形は表示されている) 再生デバイスを再チェックする。

(2) 録音をする

録音・再生のトライアルで正常に録音出来ることを確認したら録音を開始する。

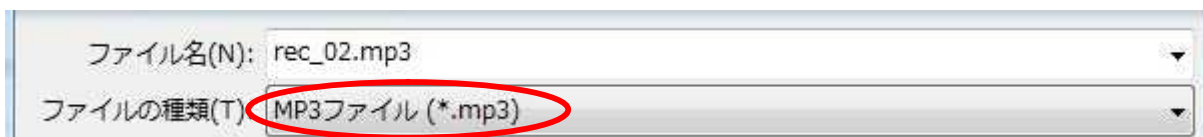
先に SoundEngine で録音開始ボタンを押して、カセットテープ プレーヤーを再生する。（無音領域が、多少、多く出来るが、録音後にカットできる。）

また、事前に録音タブで「自動開始」、「自動終了」にチェックを付けておいた場合は、自動で録音が始まるので、録音開始ボタンは押さなくてよい。（フェードイン、フェードアウトに旨く対応出来ないことがある。）

3 . MP3 で保存する

SoundEngine をダウンロード/インストールしただけでは、MP3 で保存することが出来ないのので、MP3 に変換するための「.DLL」を事前に入手し、SoundEngine に事前にコピーしておく必要がある。（講座では処置済みのものを使って説明します。）

再生タブを開いて、録音状態のチェックが終わったら、メニューバーの「ファイル」 - 「名前を付けて保存」を実行 ファイルの種類を「MP3」に変更し、名前を付けて「保存」する。（保存先は、上記1の設定による。）



「SoundEngine コマンドライン保存」画面で、「GOGO160kbps ジョイントステレオ」を選び「OK」をクリックする。 MP3 変換が始まる（自動終了） 保存完了



以上で録音完了ですが、カセットテープ全曲を1度に連続して録音した場合、録音した音楽は全曲がまとめて1曲として認識されます。従って、このままでCDに焼き付けると、1曲ごとの頭出し再生は出来ません。

CDで頭出し選曲が出来るように、トラック（曲）ごとに分割・保存（mp3）する方法の一つとして、次の方法がある。

SoundEngineで録音した全曲（wav）を保存する 最初の曲を残して、他を削除する 曲名を付けて MP3で保存（1曲目保存） 全曲（ファイル）を呼び出す 2番目の曲を残して、他を削除する 曲名を付けて MP3で保存する。（2曲目保存） （以下繰り返し）

曲分割にはフリーソフトを使って、もう少し簡単に分割する方法もWebで紹介されています。興味のある方は試してみてください。

4. 音楽をCDに焼き付ける

先般、Free ソフト「CDBurnerXP」を使用したデータ CD の作成方法を講習しましたが、ここでは同じソフトを使った音楽 CD の作成方法について、簡単に説明します。

「CDBurnerXP」を起動して、表示された画面の「オーディオ ディスク」を選択し、「OK」をクリックする。



オーディオ コンパイル画面の上段左側、エクスプローラー表示されたフォルダ構造から対象を選び、画面上段右側に音楽ファイルを表示させる。



表示させた音楽ファイルを選択して、画面中段の「追加」ボタンを押す。下段にCDに焼き付ける音楽ファイルが表示される。



焼き付ける音楽ファイルを全て選んだら、画面最下段のディスク書き込み可能容量（再生時間）等を確認する。容量オーバーの場合は、削除する曲を選んで、画面中段の「削除」ボタンをクリックする。



書き込み準備が完了したら、画面中段の「書き込み」ボタンをクリックする。



書き込みが終了するとCDが自動で排出される。

(注) 音楽CDは1度書き込みをすると、追記は出来ません。追記が可能なCD-RWを使用された場合は、再生機によっては音が出ないことも有るようです。CD-Rがベストです。

講座に参加される方は、カセットテープ、プレーヤー、ラインケーブル(接続コード)、イヤホン、CD-R(空のもの)をご持参下さい。

以 上

2011年11月30日